

事務事業名		在宅介護者介護手当支給事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 介護保険サービスの充実と介護予防の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	20217	介護(保)	4	2	5	在宅介護者介護手当支給事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業					国県補助事業				
		任意的事業・義務的事業					任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成12年度～		年度	根拠法令 条例等	佐野市在宅介護者介護手当支給条例、同施行規則				
	実施方法	事業分類					現金・現物給付事業				
		リーディングプロジェクト					該当なし				
					市長マニフェスト					2-9	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
寝たきりや認知症の高齢者を在宅で同居し介護している方に、介護手当を支給。窓口相談により事業の該当になるか確認し、申請書を受付。内容を審査し、認定の通知を行う。所得の状況により、月12,000円又は、月6,000円を支給。			寝たきりや認知症の高齢者を在宅で同居し、介護している方に介護手当を支給した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			介護手当支給者数	人	199	190	200			
			介護手当支給月数	月	1,658	1,603	1,650			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
65歳以上の寝たきりや認知症の高齢者を在宅で同居し介護している方			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			65歳以上高齢者数	人	31,140	32,923	34,706			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
介護者の経済的負担を軽減する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			受給者における平均支給月数	月	8.3	8.4	8.3			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
必要な時に適切な介護保険サービスが受けられるようにする。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			要支援・要介護認定率	%	-	18.2	18.2	18.5	18.8	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	5,411	5,079	5,939					
	県支出金	千円	2,705	2,540	2,969					
	地方債	千円								
	その他	千円	2,705	2,539	2,969					
	一般財源	千円	2,877	2,700	3,351					
	事業費計(A)	千円	13,698	12,858	15,228	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			扶助費	13,698	扶助費	12,858	扶助費	15,228		
	人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	500	500	500						
人件費計(B)	千円	1,946	1,971	1,971	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,644	14,829	17,199	0	0				

事務事業名	在宅介護者介護手当支給事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	---------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和50年に重度心身障害者を対象に事業が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成12年度から介護保険制度が創設され介護の認定基準に基づきサービスの利用基準を定めるようになってきている。 平成20年度から前年度の所得により、手当の額が月12,000円又は6,000円となった。 平成21年度より、介護保険の地域支援事業として実施している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	議員から、前年度の所得により手当がもらえない人がいるが、見直しをして、誰でももらえるようにするよう要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 この事業の意図は寝たきりや認知症の高齢者を在宅で介護している方に介護手当を支給することにより、介護者の経済的・精神的負担を軽減し介護意欲の向上を図ることであり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 在宅介護を推進するため介護者の経済的・精神的負担を軽減することは自治体の責務であり、そのため介護手当を支給することは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業は、寝たきりや認知症の高齢者を在宅で同居し介護している方に介護手当を支給する目的で実施しているため、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 事業の周知は、民生委員、ケアマネージャー、市民へ行き届いており、すべての対象者へ手当の支給がされており、成果は出ている。今後は、新たに支給対象者となった方に支給が始まるが、対象者数はほぼ横ばいであり、成果の向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 平成20年度から手当の金額と対象世帯を見直したことにより、事業費の削減が図られたところであり、さらなる削減は難しい。また人件費については、必要最小限の人数で対応しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 本事業の受益者は介護に携わり、心身ともに大きな負担をしている方であり、扶助費としての観点から受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	在宅介護を推進する観点から1か月6,000円又は12,000円の金額ではあるが、介護者の経済的・精神的負担を軽減し、介護意欲の向上につながるもので休止・廃止することはできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			